

# つくば市議会だより SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

3月定例会 No.161

令和2年(2020年)5月1日発行  
発行：つくば市議会  
編集：議会報編集委員会

・会派代表質問	P 2
・一般質問	P 5
・委員会審査	P 9
・議案審議	P10
・議決結果・議決賛否	P11
・特集	P12

## 「新型コロナウイルスの影響による調査及び方策を求める決議」を可決！

新型コロナウイルスの影響は、特に市内中小企業や小規模事業者など、さまざまな業種において大きな損益を被ってしまう可能性があるため、早急に他の業種の現状を把握するための調査を行い、順次必要な方策を講じていただくことを市に求めました。



## 「持続可能都市つくば」の実現のために、つくば市議会として、より積極的な議会活動を行うことを宣言！

つくば市議会は、多様な市民の声をより把握して、議員同士が活発な討議を通し、未来構想の理念に基づく多くの取り組みの推進を的確に捉えながら、市民の負託に応えるため、より積極的な議会活動を行う宣言を令和2年3月議会で決議しました。



## 「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」調査中

高エネ研南側未利用地（旧つくば市総合運動公園事業用地）について、利活用の早期解決を図るため、全議員参加の「高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」を令和元年9月議会において設置しました。現在、調査・議論が進められています。

これまでに、7回の委員会と勉強会を開催。令和2年2月9日と3月16日にはワークショップを行い、多様な価値観の見える化を図りました。

引き続き、当該土地の利活用の早期解決に向けて検討を進めていきます。



### 3月定例会ハイライト

**会派代表質問** 5名の代表者が市政方針をただす

**一般質問** 15名の議員が白熱の議論を展開

**議案審議** 令和元年度一般会計補正予算など42件の議案を審議

**請願・意見書** 女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を国に提出することを求める請願を採択し、同意見書を可決



令和 2 年 3 月市議会定例会の開会日に、五十嵐市長が

「令和 2 年度市政運営の所信と主要施策」について述べました。

※詳細は広報つくば 4 月号または市ホームページをご覧ください。

# 主要施策と当初予算

1 魅力をみんなで作るまち

2 誰もが自分らしく生きるまち

3 未来をつくる人が育つまち

4 市民のために科学技術をいかすまち

合計  
1,488億  
875万円

- 一般会計 885億2,500万円
- 特別会計 338億2,462万6千円
- 水道事業会計 92億9,492万2千円
- 下水道事業会計 171億6,420万2千円

会派代表質問は、会派の構成議員数が 3 人以上の会派から、会派を代表して 1 人が行います。今定例会では、5 会派の代表者が市長の「令和 2 年度市政運営の所信と主要施策」に対して質問を行いました。

※ 質問内容は市議会ホームページをご覧ください。



## 自民つくばクラブ・新しい風

質問者

小久保 貴史 議員



代表者

- 小久保 貴史
- 久保谷 孝夫
- ヘイズ ジョン
- 五頭 泰誠
- 神谷 大蔵
- 黒田 健祐
- 長塚 俊宏

## 「つくば市未来構想(案)」のまちづくりについて

質疑 市の最上位の構想であるつくば市未来構想について、全市民が理解し、まちのイメージを描くため、どのように取り組むのか、どのように周知し、実効性を高めるのかお聞かせください。

答弁 「つくば市未来構想(案)」のまちづくりの理念と今後の方向性については、社会

経済などの情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承、発展させていく持続可能都市を目指します。21世紀半ばまでの新たなまちづくりの理念である「つながりを力に未来をつくる」のもと、4つの目指すまちの姿と2030年の未来像を示しており、その実現に向けた施策を進めていきます。未来構想案で示す2030年の未来像の実現に向けて、特に重点的に取り組む施策を効果的、効率的に推進するため、2020年度から2024年度の「第2期つくば市戦略プラン」を策定し、計画的な進行管理を行うとともに、毎年度、事業実施計画を策定し、対象や手段を具体的に示していきます。また、わかりやすいパンフレットの配付などにより、新しい未来構想やその実現に向けた市の施策の市民への浸透を図っていきます。



## 筑波山ジオパーク拠点と北部振興について

質疑 旧筑波東中学校跡地を活用した筑波山ジオパーク拠点施設整備と北部振興イメージや整備スケジュールについてお聞きします。

答弁 筑波山地域ジオパーク中核拠点施設については、令和元年度から令和2年度にかけて、基本構想と計画、令和3年度に基本実施設計、令和4年度に整備、改修工事を行い、令和5年度オープンを目指しています。この施設は、来訪者へのジオパークの紹介、子どもたちの体験学習の場、市民やジオガイドの交流スペースなどとして活用し、筑波山地域の活性化を図っていきます。



つくば市政クラブ

質問者

須藤 光明 議員



代表者

塚本 洋二  
鈴木 富士雄  
須藤 光明  
柳沢 逸夫  
高野 進  
大久保 勝弘

まちづくりについて

質疑 教育について、日本を代表する各分野の教育関係者などとさまざまな意見交換を行い、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を市が目指す教育の最上位目標に掲げた「つくば市教育大綱」の策定を進めるとありますが、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」とは、どのようなことを考えているのか見解を伺います。

答弁 教育大綱で最上位目標に掲げた「一人ひとりが幸せな人生を送ること」について、

せな人生を送ること」については、一人一人の違いが受容され、多様で豊かな個性が発揮される環境のもと、それぞれが自己実現でき、社会力が育つことを目指しています。

今後も教育大綱を踏まえながら、第3期つくば市教育振興基本計画を策定し、市が目指す学びを実現していきます。

要望 市のまちづくりには、教育に関わる先人達が教育日本一を掲げて小中一貫教育を柱として努力してきました。ぜひこの柱を継承し、さらに教育を高めていくようお願いいたします。



誰もが自分らしく生きるまち

質疑 公有地の活用について、

活用が未だに定まらない学校跡地や高工ネ研南側未利用地などについても、地域や議会の意見を丁寧に伺いつつ、活用方針を検討していくとありますが、高工ネ研南側未利用地については、市長は売却をするため、広く公募し、買受を希望した企業1社に決定し、土地代40億円で売却したいと議会に報告しました。議会としては、高工ネ研南側未利用地に関する、調査特別委員会を設置している状況です。高工ネ研南側未利用地について、市長の考えを伺います。

答弁 高工ネ研南側未利用地の活用については、議会に調査特別委員会が設置され、さまざまな議論、検討が行われていることから、同委員会で取りまとめられる意見などを踏まえて検討していきたいと考えています。

要望 地域と議会の意見を十分に理解し、方向づけをしていただくようお願いいたします。

つくば 市民ネットワーク

質問者

小森谷 佐弥香 議員



代表者

皆川 幸枝  
北口 ひとみ  
宇野 信子  
小森谷 佐弥香

つくば市教育大綱について

質疑 市の教育の根幹となる「つくば市教育大綱」策定が大詰めを迎えています。その中で市長は「近代公教育からの大きな方向転換が必要」と述べており、つくば・市民ネットワークも重要と考えていますが、そのためには全ての教職員と、何よりも保護者との意見交換が必須です。そこで、各学園に市長や教育委員が出向いていき、教育大綱を題材にして「私たちの学校をどうしていくか」などのテーマでスクールミーティング

を開催することを提案しますが、このことに関する市長の考えは、

を主催することを提案しますが、このことに関する市長の考えは、

答弁 教育大綱について、保護者や学校の教職員に対しては、PTA役員の集まりや学校長会などでの丁寧な説明を通して、理念の浸透に努めたいと考えています。地域住民を交えた学園ごとのスクールミーティングについては、有効性はあると考えますので、その手法を含めて引き続き検討をしたいと思えます。

科学技術活用のあり方について

質疑 「市民のために科学技術を生かすまち」として、顔認証やドローン配送実験、自動運転技術などの社会実装を進めているが、これらの技術は便利になる反面、リスクもあります。電子媒体における個人情報の一括管理は流出時のリスクが大きく、ドローン配送や自動運転では事故時の責任の所在をどうするかという問題があります。先に科学技術ありきではなく、市民生活におけるリスクを増大させないようにすることは避けなければなりません。市長の見解は、

進めるものであり、市民の意思を当然尊重していきます。スマートシティ倫理原則は、市民の意思を無視した科学技術の活用を行わないことを明確に示すために制定したものです。科学技術の活用にあたっては、決して導入ありきではなく、専門家も交えた入念なリスク分析、セキュリティの確保、市民への必要十分な情報提供、不具合が生じた場合には即止めるといった丁寧なプロセスを踏んで進めていきます。



公明党

質問者

小野 泰宏 議員



代表者

小野 泰宏  
浜中 勝美  
山本 美和

市内全体を視野に入れた「まちづくり」を望む

【質疑】 市内には、人口増加地域だけでなく、人口が減少している地域や集落も数多くあります。市長は所信の中で「持続可能なまちづくり」について言及していますが、「人口が減少している地域や集落」も含めて、全て未来に向けて安心して住み続けられるまちにしていくのか、目指す「まちづくり」の考えについて伺います。

【答弁】 持続可能なまちづくりのためには、人口が減少している

る周辺地区のすばらしい資源を次世代に継承し、地域を発展させていくことが重要です。また、TX沿線地域に集中する社会増を周辺地区にも波及させるとともに、地域全体の合計特殊出生率を上げていくための取り組みが重要であると考えています。

【質疑】 周辺地域を対象に、現在の周辺市街地活性化の取り組みを、さらに「横展開」していく考えはあるかどうか伺います。

【答弁】 周辺市街地の振興で得られたノウハウの横展開については、非常に重要なことであると考えています。人口が減少している地域などで自らの地域づくりを頑張っている、もしくは、これから頑張りたいと考えている方々が周辺市街地のイベントに参加したり、希望に応じて、周辺市街地活性化協議会の打ち合わせを見学したりといった交流の機会を設けることで、ノウハウの横展開を図っていききたいと考えています。

高齢者が安心して生活ができる環境整備を望む

【質疑】 地域包括支援センターの市内全圏域整備は評価するところですが、高齢者が住み慣れた

地域とつながり、安心して生活ができる環境を整えるためには、市民の協力や理解を得るとともに、市内共通の課題や他部署にも関連する事柄も数多くあることから、地域からのさまざまな有益な情報を、これまでよりも、より広く庁内で共有していくことが、持続可能なまちづくりの観点からも特に重要と考えます。以上のことに対する認識や考えについて伺います。

【答弁】 高齢者が住み慣れた地域とつながり、安心して生活ができる環境を整えるためには、地域の課題を庁内で共有し、解決に向けた施策を連携して実施していくことが重要であるとと考えています。



日本共産党

質問者

滝口 隆一 議員



代表者

滝口 隆一  
橋本 佳子  
山中 真弓

子育て一番のまちづくりを

【質疑】 令和2年度予算も史上最大規模です。人口の社会増のためです。しかし、長期財政見通しでは、市民税が6年後をピークに、わずかですが下降傾向です。一方、支出での義務的経費は増えたままです。社会増が止まってくることによるものです。そうすると、人口の自然増を作っていくことが求められます。つまり、子育てはつくば市が一番、そついうまちづくりが必要です。今からそのための準備をしていく時期と考えますが、市長の見解を求めます。

【答弁】 現在、市では、TX沿線地域を中心に転入を主な要因とする人口増加が続いている状況です。今後のまちの持続的な発展のためには、転入などの社会増に加え、出生数の増加などの自然増への取り組みがさらに重要であると考えています。今定例会に提出した「つくば市未来構想(案)」においても21世紀半ばに市が目指すまちの姿の一つに、「未来をつくる人が育つまち」を掲げており、例えば民間保育所の設置支援や出産環境の整備などにより、子育て環境を充実させていきます。



GIGAスクール予算への疑問

【質疑】 全ての子どもにもパソコンを持たせるGIGAスクール予算は約11億円の巨大な予算で、IT産業市場に貢献するものです。一方で、教職員の大幅増員に使うべきとの声も出ています。推進している経済産業省は、個々の子どもにあった教育ができるとし、これまでの教室で一斉に授業を受ける仕組みを否定する考え方、学習塾・スポーツ教室など民間事業ともリンクさせる考え方が登場しています。社会力で人格の完成を目指す市の教育大綱とかけ離れたものと思えますが、教育長の見解を求めます。

【答弁】 民間教育サービスの利用について、学校の教育課程や子どもを第一に考えていくことと思えます。これまでも民間のゲストティーチャーなど地域資源を活用することで、学びを広げ深めたり、地域社会との関わりを深めたりすることにつながってきました。またICTが整備され、機器の活用が進むことにより得られる児童の学習データや生活のデータについては、子どもの学びの充実、子どもへの支援や教師の指導に役立てていけると考えています。



木村 修寿 議員

つくば政清会

### 高山中学校への通学道路(市道1-62号線)の整備

**質疑** 高山中学校下から圏央道の橋梁(せうりやうせうどう)までの約200m

高山中学校下から圏央道の橋梁(せうりやうせうどう)までの約200mに関し、平成30年3月議会一般質問で、西谷田川の河川改修に合わせて、未整備区間の道路改良工事を進めていきたいと考えているとの答弁をいただきました。現在の進捗状況を伺います。

**答弁** 市道1-62号線の道路改良工事については、西谷田川に架かる高山橋の改築工事に合わせて実施することになるため、

令和元年度は高山中学校から圏央道までの区間の実施設計を行い、令和2年度以降、用地測量、用地買収を行い、その後、高山橋改築工事の進捗を見据えて、道路改良工事を進めていきます。なお、高山橋の改築工事は、事業主体の県土木事務所が確認したところ、橋梁設計が完了し、令和4年度末の完成を目標して進めるとのことです。

**質疑** 説明会の開催については、どう考えていますか。

**答弁** 地元の皆さんへの説明会については、高山橋改築工事の事業主体である土木事務所とともに、道路改良工事についての説明会を検討したいと思っています。

**要望** 地元区会、PTA関係者などにも説明会の開催をお願いいたします。



市道1-62号線 (152号)

このほか、都市軸道路、国道354号谷田部バイパス、児童クラブ、高齢者運転免許自主返納支援事業、公園整備事業について質問しました。



大久保 勝弘 議員

つくば市政クラブ

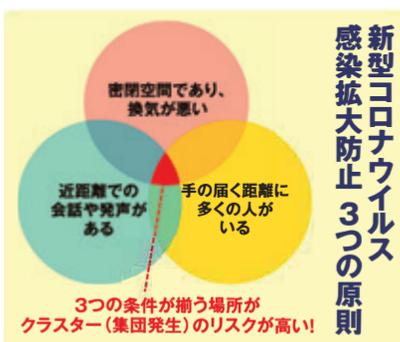
### 新型コロナウイルス肺炎について

**質疑** 中国の武漢市から新型コロナウイルスの感染が始まり、

現在では世界に拡散しています。厚生労働省では発熱や上気道症状を引き起こすため、マスク着用や手洗い、うがいを呼びかけていますが、①感染が疑われる患者への対応、②患者が陽性と確定したときの支援体制や管理方法、医療費の助成について伺います。

**答弁** ①感染が疑われる患者は、つくば保健所を經由し県が

指定する帰国者・接触者外来で診察治療を受けることとなります。保健所はマニュアルに沿って対応しており、市もその指示に従い対応していきます。②県知事は、患者が陽性と確定したときには、感染症法に基づいた入院をさせます。加えて、感染症患者がいた場所などについて管理者に対し消毒を命じることがあります。患者が入院した場合には、医療費の自己負担分は公費負担となります。



「3つの密」を避けましょう!

このほか、スポーツ施設と新しいまちづくり、県民自慢世論調査、市長公約事業ロードマップの推移状況、総延長約180kmの「つくば霞ヶ浦りんりんロード」について質問しました。



鈴木 富士雄 議員

つくば市政クラブ

### 下水道について

**質疑** 北部地区の未整備地区

北部地区の未整備地区における今後の整備計画に関して、①今後の整備予定、②既に認可を受けた北部5地区の整備完了時期、③国道125号線の寺具から作谷までの幹線管渠の整備状況、④事業認可区域外の整備、⑤全体計画区域の変更および時期について伺います。

**答弁** ①作谷・安食・上菅間、3地区の一部に着手しており、令和2年度は約1.9kmの整備を予定しています。今後

は、既に認可を受けた作谷・寺具・明石・洞下・上菅間の北部5地区の一部について、地区要望および費用対効果を考慮し、順次整備していきます。②北部5地区の一部の今整備予定している地区については、令和11年度の整備完了を予定しています。③125号線の寺具から作谷までの区間は現在整備中であり、令和2年度末、整備完了予定です。なお、作谷地区内の幹線管

渠については、令和5年度末、完了予定です。

④下水道事業については、全体計画をまず策定し、計画区域内で5年から7年程度で整備できる範囲について事業認可を受け整備することとしています。認可区域内の整備完了が見込まれるころまでに、新たに事業認可の区域を追加し、整備を行う予定です。

⑤県の流域下水道全体計画変更は令和5年度から令和6年度に予定されているため、市も同時期に見直していきます。

**答弁** このほか、つくば霞ヶ浦りんりんロード、上水道、スポーツ施設について質問しました。



山中 真弓 議員

日本共産党

### 小児マル福拡大未実施はつくば市を含む残る3自治体に

**質疑** 高校3年生まで外来小児マル福を拡大するための予算額と実施する考えはないのかどうかについて伺います。

**答弁** 市の小児マル福は、外来が中学3年生まで、入院は高校3年生相当まで医療費助成を行っています。高校生の入院助成は平成30年度から始めたところで、その状況や医療機関の混雑具合、県や他市の動向を注視していきます。

**質疑** 令和2年4月から水戸市などで高校3年生まで外来マル福を拡大する予定です。外来マル福拡大未実施の自治体は、つくば市他2自治体のみです。子どもの医療費の負担軽減策とありますが、市長の見解を伺います。

行った場合、中学生の利用状況をもとに所得制限なしで計算すると、必要な予算は約9千万円が見込まれます。

このほか、教員の働き方、市内小中学校のテストの実施状況、線引き日前から宅地である土地における開発行為などの制度変更について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党

### 葦崎給食センターの建て替えについて

**質疑** いよいよつくばほがらが給食センター谷田部が開所します。計画では、次は葦崎給食センターの建て替えになると思います。今後のスケジュールをお聞かせください。

同センターの調理食数を約2千食程度に調整し、施設への負担軽減を図る予定です。

なお、今後の学校給食施設の整備方針については、令和20年度までの児童生徒数の推計結果や各地区の状況などを考慮しながら、整備する施設の規模、場所なども含め早急に検討していきます。

**答弁** 葦崎学校給食センターは、経年劣化の対応として、施設の修繕や設備機器の更新などを計画的に行い、安定した給食の提供に取り組んでいます。令和2年4月のつくばほがらが給食センター谷田部の供用開始に伴う配送先再編に当たり、

**要望** 葦崎給食センターは葦崎中学校に隣接し地域内で親子方式ともいえるものでした。また、老朽化が激しく、修理をし

ながら稼働をしています。労働環境も悪く、洗い場はシャッターを上げると雪が吹き込む中で作業をしています。地域の学校給食の拠点として1日も早く建て替えを求めます。



このほか、賃貸空き家対策としての子育て世代向け家賃補助、国民健康保険証の短期保険証発行の措置、学校等適正配置計画について質問しました。



浜中 勝美 議員

公明党

### 上郷高校跡地利活用について

**質疑** 上郷高校跡地利活用については区長説明、公有地利活用方策検討会、地元説明会、議員全員協議会での説明会などを経て、上郷高校跡地を含めた陸上競技場基本構想の策定の方向性が示されました。今後の跡地利活用の考え方について伺います。

なる場合も想定されるが、説明会の予定について。

**答弁** ①上郷高校跡地に陸上競技場を整備する場合は、令和2年度中に陸上競技場整備基本構想を策定する予定のため、令和3年度中に大規模事業評価が行われる予定です。その後、市の対応方針を決定し、基本計画の策定、実施計画、実施設計などを経て、4年から5年後に工事着工になると考えています。

②南側校舎は、給水設備の不

このほか、受動喫煙対策、スマート農業取り組み推進について質問しました。



金子 和雄 議員

新社会党

### 福祉支援センター業務の委託について

**質疑** 福祉支援センター業務については、令和元年12月議会です。新年度から一部を民間委託で実施することが議決されました。職員の質の確保や専門性の確保、また早めの周知や理解など、事業が大きく変化するときには、利用者や保護者の理解が必要であり、部内の調整なども重要と考えます。地域活動支援センター事業が開始されてから、民間委託へ至るまでの経過と今後の進め方について伺います。

この事業は各自自治体で実施されていますが、自治体が直営で実施しているのは県内でつくば市だけであり、また、職員の専門性の確保に課題があり、利用者や保護者より事業内容について要望もあつたことから、障害者を支援する事業の実績がある

**答弁** 地域活動支援センター

このほか、市長公約事業について、①魅力をみながら創るまち、②誰もが自分らしく生きるまち、③未来をつくる人が育つまち、④市民のために科学技術を活かすまちについての考え方について質問しました。



木村 清隆 議員

つくば政清会

### 学校教職員の働き方改革の取り組みについて

**質疑** 市内小中学校教職員の方々の働き方改革の取り組み状況について、それぞれ教職員の働く環境全般を含めて伺います。

電話の留守応答機能の運用開始のほか、つくば市近隣中学校球技大会の開催取りやめなど、学校行事についても学校長会と協議し、開催方法の見直しなどを行っていました。今後も業務の見え

①働き方改革の具体的な取り組み状況について、②教職員変形労働時間制について。

②県の動向を見ながら、校長や教員の声を聞き、期待できる効果や課題を検討していきたい

このほか、会計年度任用職員制度について質問しました。



塚本 洋二 議員

つくば市政クラブ

市内スポーツ施設について

市から県へ昨年10月に提出した要望書の中に「現在、県南地域において、全国的なスポーツ競技大会やプロスポーツ大会を実施できる施設は非常に限られています。県内でも多くの人口を擁する地域ながらトップスポーツに触れる機会に乏しい状況です。」とあったことから質問します。市内には各種スポーツ施設がありますが、県大会、関東大会、全国大会などが開催できる施設とこれまでの大

会事例について伺います。

【答弁】 市で所管しているスポーツ施設においては、高校生などの県大会や関東大会がフットボールスタジアムつくばおよびつくばカピオで開催されているほか、全国規模の大会としてセキショウ国際女子オープントーナメントが筑波北部公園テニスコートで、全国私立高校選抜バドミントン大会などがつくばカピオで開催されています。また、プロスポーツの開催事例



つくばカピオアリーナ

として、つくばカピオでバレーボールVリーグ2部およびバスケットボールBリーグ2部の試合が行われています。

このほか、公有地の旧消防庁舎の活用、消防行政、消防団員の現在の活動状況と経験や知識がある消防団員OBの活用について質問しました。



北口 ひとみ 議員

つくば・市民ネットワーク

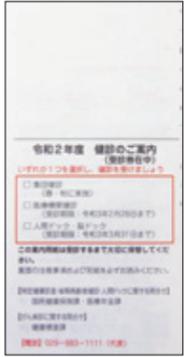
国民健康保険 特定健診自己負担が無料化！

【質疑】 国民健康保険の被保険者は約半数が60歳代から74歳までが占めており、疾病予防や重症化予防が大きな課題になっています。市の現状と課題、今後の対応策について伺います。

【答弁】 市内の国民健康保険加入者に対し、生活習慣病を防ぐための取り組みとして特定健診を受診してもらえよう受診勧奨通知を送付するとともに、電話での受診勧奨も行っています。しかし、受診率は令和元年度37・2%で県内31位と低迷して

いることが大きな課題です。受診率向上のため、受診勧奨をするともに土日での集団健診の開催、受診率向上キャンペーンを行うなどしています。加えて令和2年度からは特定健診の自己負担額1500円を無料とし、多くの人に受診していただくことを目指しています。

【質疑】 特定健診の自己負担額無料化を実施することによって、対象者が認知しなければ、効果にはつながりません。どのように周知する考えが伺います。



特定健診受診券

このほか、ソーラーシェアリングについて、また悪天候時の登下校の判断に関する検証と今後の対策について質問しました。

【答弁】 多くの方に知っていただけにとまよってさまざまな場面で周知をしていきたいと考えています。【要望】 開封せずとも「無料化」がわかるように封筒に明記して周知を図るよう要望します。



皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク

空き家を活用した地域の居場所づくり支援を！

【質疑】 身近な場所で多世代が交流し、地域が賑わい、住民同士の助け合いが進んでいくためにも、居場所づくりを進めていくことは大変重要です。「みんなの食堂」や「高齢者憩いの広場」事業は、市民ボランティアに運営費の一部を補助する形で進められています。これらの事業の現状について伺います。

【答弁】 高齢者を中心とした地域の憩いの場の確保を目的とし、週1回以上活動を行う団体に補助金を交付しています。主な活動場所は地区の集會場で、現在6カ所の高齢者憩いの広場があります。みんなの食堂は市内に6カ所あり、地域交流センターなどの公共施設や民間施設で実施されています。市では運営する団体を支援し、開設を促進するため、食材費や消耗品、保険料などに使用できる補助金を交付しており、令和元年度は4カ所へ交付予定です。

【質疑】 居場所づくりを進めていくためには空き家の活用などハイ

ド面での支援が必要と考えます。空き家の活用については、地域条件などの課題もありますが、地域の居場所づくりのための空き家活用に関する相談があった際には、所有者の了解を得た上で情報の提供や所有者との調整を行うなど、空き家の有効活用を促進につなげていきます。また、空き家を改修する際の補助事業については、地域や運営法人などのニーズを踏まえながら他の自治体の先進事例を調査研究していきます。



宇野 信子 議員

つくば・市民ネットワーク

気候変動対策の具体的な取り組みを

【質疑】 地球温暖化による異常気象は、深刻な自然災害の多発や食糧危機を招き、安心安全な市民生活の持続可能性に対する最も大きな脅威の一つであり、社会を挙げて喫緊に取り組みなければならぬ課題です。そこで、①現在策定中のつくば市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の考え方と重点施策、②プラスチックの削減、③再生可能エネルギーの割合を高める方策、④自治体として気候非常事態宣言を行うことについての考

えを伺います。【答弁】 ①本計画は、つくば市地域新エネルギービジョンや、つくば環境スタイル「SMILE」で培った経験をもとに地域の特性を考慮して策定を進めています。本計画では、施策によるマルチベンefitに重点を置き、全ての施策に多面的なメリットを記載しています。②市内小売店などでのレジ袋削減とマイバッグ利用促進を図っています。今後も他自治体などの事例を調査研究し、プラ

③公共施設に再生可能エネルギー設備を導入し、成果を公表することで地域の再生可能エネルギー導入の促進につなげたいと考えています。④気候非常事態宣言については、今後、各都市における宣言に当たっての背景、市における効果や多面的な影響について調査研究していきます。

このほか、科学技術都市推進における倫理的問題の対応について質問しました。



黒田 健祐 議員

自民つくばクラブ・新しい風

### スクールガード・リーダー事業について

**質疑** 昨年の川崎市市の事件を受け文部科学省はスクールガード・リーダーを大幅に増員する方針を決めました。市のこの事業に対する見解を求めます。

**答弁** スクールガード・リーダーは、防犯の専門家が、各自

治体からの委嘱を受けて学校や周辺の巡回および地域の学校安全ボランティアの方へ安全体制の助言、指導などを行うものです。

保護者や地域の方々がボランティアとして通学路の巡回や登下校時における立哨などの協力をいただいておりますが、ボランティアの指導役であるスクールガード・リーダーは委嘱していません。

今後は、各学校と連携をとりながら、地域の実情を把握し、国の方針や県の考え方を踏まえ、研究していきます。

**要望** スクールガード・リーダー事業の要望を受けておりま

すので、ぜひ前向きに市でも検討してください。



このほか、動物愛護について質問しました。



山本 美和 議員

公明党

### 食品ロス削減運動は家庭から！

**質疑** 食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の半分は家庭から出ています。国連の持続可能な開発目標(SDGs)では、2030年までに小売り・消費レベルでの世界全体の1人当たりの食糧の廃棄を半減させることを掲げ、日本では家庭から出る食品ロスを2030年度までに半減する目標を明らかにしています。食品ロス削減推進法では、消費者の役割も定められています。①市の食品ロス削減の取り組みの考え、②飲食店などの協議の場を設置することについての考えを伺います。

**答弁** ①食品ロスの取り組みについては、筑波会議での市主催の夕食会やつくば市新春賀詞交歓会で、提供する食事の量の調整や啓発チラシのテーブルへの設置など、食品ロス削減対策を実施しました。SDGsパートナーズの皆様には、SDGs TRYなどを通し、自分たちでプロジェクトを考えていくこと

減の取り組みの考え、②飲食店などの協議の場を設置することについての考えを伺います。

をやっていたいただいています。②飲食店との協議の場については、今後、他自治体の取り組みを調査していきます。

SDGsでの大きなテーマは食品ロスだと思っています。理念ばかりではなく、具体的な目標を定め、具体的な行動を取ることが問われています。行政がリードして市民が主体的に参加していけるよう力を入れていきたいと思っています。

## INFORMATION

### 6月定例会開催予定 (場所：市役所6階)

- 6月9日(火) 開会・議案上程
- 16日(火) 一般質問
- 17日(水) 一般質問
- 18日(木) 一般質問・議案等総括質疑
- 22日(月) 総務委員会・文教福祉委員会
- 23日(火) 市民経済委員会・都市建設委員会
- 26日(金) 討論・採決・閉会

### 傍聴

議会(本会議・委員会)は簡単な手続きで傍聴できます。ぜひお越しください。なお、日程は変更になることもありますので、電話またはホームページでご確認ください。

【問い合わせ】 議会事務局議会総務課  
Tel 029-883-1111  
(内線 6110・6120・6130)

### 議会報編集委員

委員長	長塚 俊宏
副委員長	木村 清隆
委員	山中 真弓
委員	小森谷 佐弥香
委員	高野 文男
委員	黒田 健祐
委員	山本 美和
委員	須藤 光明

### 議会中継・録画放映

下記ホームページから「議会中継」をクリックしてアクセスし、視聴してください。本会議(定例会・臨時会)の開催時間であれば生中継をご覧いただけます。また、本会議開催日ごとに3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。



つくば市議会 モバイル

※委員会は配信していません。  
【つくば市議会ホームページ】  
<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>

### 入札制度について

**質疑** 地場産業育成の観点から市が実施している入札制度のうち、総合評価方式の現状・課題・今後の対応について伺います。

**答弁** 令和元年度は既に11件実施し、年度内にと2件を予定しています。現在は、試行的にさまざまな工事に実施しており、今後も実施件数を増やし検証した上で本格導入に向け検討していきます。

**質疑** 総合評価方式に、災害

時やボランティア活動の実績など地域精進度を検討するべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答弁** 公共調達では、品質の確保、経済性が重要です。入札では、発注内容に応じ参加者の技術力、競争性が求められます。さらに、公共調達には、地域振興や地元企業の育成といった要素も含まれています。しかし、全要素を100%満足させるという点にはならず、何の要素に重点を置き、それぞれの要素

間のバランスをどう取るかが一つのポイントになると考えています。そうした点から、品質の確保について信頼度が高く、受注内容や目的により要素間のバランスも取りやすい方式は総合評価方式だと考えています。

**質疑** 現在、市が実施している入札制度を検証するチームを庁内に作ってはどうか。

**答弁** 入札制度は、常に検証し、改善を図っていく必要があります。その意味でもその検証チームは設置に値するものと思っておりますので、どのような形でできるかを考えていきたいと思



塩田 尚 議員

山中八策の会

総務

『つくば市未来構想の変更について』

審査結果Ⅱ可決すべき

SDGsを主軸として  
いる中で、市の1100以上ある  
事務事業を17のゴールと16  
9のターゲットへと振り分ける  
方法について

答弁 17のゴールが行政の事  
業に合致するものばかりではな  
く、複数にまたがっているもの  
もある。主にどのゴールに紐付  
くのか整理し、そのゴールに向  
かって行けば、おのずとゴール  
に近づくという考えで振り分け  
進めている。

質疑 市街化調整区域の内容  
が薄い理由について

答弁 未来構想は理念であり、  
具体的に市街化調整区域への施  
策は表現していないが、理念の  
中でそれぞれの地域が持っている  
自然や文化などを市の重要な  
財産として認識した上で、基本  
理念である「つながりを力に未  
来をつくる」を掲げている。具  
体的には戦略プランで、周辺地  
域の施策を展開していきたい。

意見 未来構想は市の最上位  
の構想で、持続可能都市つくば  
実現のため議会でも宣言のよう  
な形で決議することが良い。

意見 持続可能都市として議  
会も一緒に進めていく決議をし  
ていくことには賛同する。

文教福祉

『令和元年度つくば市一般会計  
補正予算(第5号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

(仮称)香取台地区小  
学校設計業務委託の減額理由と  
進捗状況について

答弁 請負額の確定により減  
額するもので、令和元年度、令  
和2年度で基本・実施設計、令  
和3年度、令和4年度に工事を  
行い、令和5年4月に開校予定  
で進めている。

質疑 公立学校情報通信ネッ  
トワーク環境施設整備補助金の  
事業概要について

答弁 GIGAスクール構想  
の実現に向けた構内LANの整  
備で、児童生徒1人1台の端末  
利用を可能とする高速大容量の  
通信ネットワークの整備である。  
令和2年度にLANの整備を  
完了して、令和5年度までにタ  
ブレット端末を段階的に整備し  
ていく。

『つくば市放課後児童健全育成  
事業の整備及び運営に関する基  
準を定める条例の一部を改正す  
る条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 今後5年間の整備の見  
通しについて

答弁 葛城や竹園東児童クラ  
ブなどの設計委託に加え、今後  
開校予定の学校敷地内に児童ク  
ラブを設置する予定である。

市民経済

『令和元年度つくば市一般会計  
補正予算(第5号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

観光振興に要する経費  
の新型コロナウイルス緊急対策  
事業で、宿泊業に焦点を当てた  
理由と個人経営の自営業者への  
支援について

答弁 観光業は、新型コロナ  
ウイルス感染症による業績の落  
ち込みが特に激しく、日々の売  
り上げが生活に直結する業種で  
ある。国の支援策は認定などに  
時間を要するため、市で事業を  
行うこととした。

個人経営の自営業者への支援  
については、国からの支援は届  
きにくいところもあるため、国  
や県でできないことを市で検討  
していきたい。

『請願2第1号 女子差別撤廃  
条約選択議定書の速やかな批准  
を求める意見書を国に提出する  
ことを求める請願書』

審査結果Ⅱ採択すべき

意見 社会の慣習・仕組みの  
中には、まだまだ女性が不利に  
なるものが残っている。この請  
願を採択することは大切なこと  
である。

意見 現状では、女性がそれ  
ほど不利になることはないと思  
える。

都市建設

『令和元年度つくば市一般会計  
補正予算(第5号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

緑越明許費補正の竹園  
サンパーク公園再整備事業の繰  
越理由について

答弁 設計に地域住民の意  
見を反映させるためにワーク  
ショップを行い、さまざまなか  
意見があったため、調整に日数  
を要した。

質疑 市の案に対する変更点  
について

答弁 地域住民から、現在の  
形状を残したいという意見が  
あったため、形状を直さずリ  
ニューアルすることが大きな変  
更点である。



『つくば市水道事業設置等条例  
の一部を改正する条例の一部を  
改正する条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

質疑 改正理由と給水人口の  
根拠について

答弁 給水人口が、厚生労働  
省の事業認可上の給水人口を上  
回ったため改正するもので、根  
拠については、人口ビジョンや  
未来構想の人口推計を基礎数値  
として算定し、設定した。

予算特別委員会

『令和2年度つくば市一般会計  
予算』

審査結果Ⅱ可決すべき

議会において、つくば  
中心市街地まちづくり調査特別  
委員会を設置し、中心市街地の  
まちづくりについて検討をして  
いる中で、エリアマネジメント  
団体出資金など、中心市街地に  
関する予算を提出することにつ  
いての市の見解

答弁 特別委員会からの中間  
報告で提言された目指すべき方  
向・目標を踏まえて先進的に取  
り組むことにより、中心市街地  
の活性化を促進できる事業とし  
て、つくばセンタービルへの公  
共施設導入検討やエリアマネジ  
メントの推進に係る経費などを  
計上している。中心市街地の魅  
力あるまちづくりを実現するた  
めに、策定中の「つくば中心市  
街地まちづくり戦略」において  
も優先的に進めるリーディング  
プロジェクトとして位置付けて  
おり、今後も事業の詳細につい  
ては市民や議会の意見を踏まえ  
ながら検討していきたい。

意見 新型コロナウィルス対  
策と予算の執行に関し、昨今の  
全国的・世界的な状況を鑑みる  
と市が積極的に関わるべきと考  
えるので、新たな予算が必要に  
なれば積極的な予算の編成およ  
び執行をお願いしたい。

賛成討論

議会では、つく  
ば中心市街地まちづくり調査特  
別委員会での議論を進めている  
中、学園地区市街地振興に要す  
る経費など、かなり具体的な予  
算計上となっている。今後もし  
らに検討が必要と考えており、  
議会との調整を密に進めていく  
ことを要望して賛成とする。

『令和2年度つくば市介護保険  
事業特別会計予算』

審議結果Ⅱ可決すべき

反対討論

施行20年を迎え  
る介護保険制度は、3年ごとの  
見直しで保険料が必ず上がる仕  
組みが作られ市民の負担になる  
システムである。高齢者の尊厳  
を奪う当該制度の抜本的な見直  
しとともに、自治体独自の軽減  
措置をとることを求め、反対す  
る。



賛成討論

高齢化が進展す  
る中、介護を必要とする状態に  
なっても安心して生活できるよ  
うに社会全体で支えていく必要  
がある。この予算は、高齢者の  
生きがいづくりなどを支援する  
とともに、介護を必要とする方  
やその家族の安心した暮らしを  
引き続き支えていくために必要  
なもの判断し、賛成する。

# 一般会計予算など議案等を審議

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(修正案)』 **否決**

**反対討論** 市として情報通信網整備を進めるもので、次代の子どもの教育環境の構築は大変重要と考え、修正案に反対する。

**賛成討論** 修正案では、歳入および歳出において小中学校の情報通信網整備に係る事業費が削減されている。小中学校に情報通信網を整備することで、課題を共同で解決しながらその解決手法を学ぶ、プロジェクト学習や個別になった学習を進めることができるようになること、修正案に反対する。

**賛成討論** 今年、市が新たに定めた教育大綱に基づき、これからの時代の教育は、認知能力偏重ではなく、ICT機器の画面では体験できない実体験を通じ人間性を育むことが重要であると考え。また、ICT機器は日進月歩で開発が進んでおり、活用方法や必要な台数など、議論を尽くして目的に沿った計画を定めてから整備をすることが、税金の適切な使い道であると考え、修正案に賛成する。

**賛成討論** 現在、新型コロナウイルスが深刻な問題となっており、国はなかなか自治体の対応について財政的な支援ができる状態ではないと考えている。このような状況の中では、他の自治体の様子を見たり、状況を慎重に精査したりしながら、社会情勢に沿った税金の使い道を検討していく必要があると考え、修正案に賛成する。

**賛成討論** 今回の補正予算案は、特に民間保育所に対する運営委託料の増額、新型コロナウイルス感染症による市内企業などへの影響緩和を図るための助成金、国の補正予算を活用した小中学校情報通信網整備委託料、小中学校・幼稚園の改修工事などが提案され、子育て環境の充実と地域経済の活性化を目指した評価すべき予算案となっている。特に、情報通信網整備については、ICT教育を長く進めてきている市として、非常に大事だと思っており、賛成する。

『女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を国に提出することを求める請願書』 **原案可決**

**賛成討論** 公正に個別最適化された学びや創造性を育む豊かな学びの実現のため、学校でのICT活用は必須であると考える。国からの財政支援を最大限活用し、学校のICT環境整備を行い、市として学校や教師へ支援を行うことで、将来的に、教師の業務も効率化され、学校における働き方改革につながる。また、遠隔教育は障害のある子どもたちや病気療養中の子どもたちに対する特別支援教育の充実にも欠かせないことなどから、原案に賛成する。

## つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会の取り組み

### 2019年

- 2月18日 特別委員会設置
- 3月4日 委員会(スケジュールの確認など)
- 15日 委員会(中心市街地の現状について説明を受ける)
- 22日 委員会(中心市街地の現状について説明を受ける)
- 4月25日 委員会(市長との意見交換、事業者から説明を受ける)
- 5月21日 現地調査
- 6月1日 勉強会(今後のつくば中心市街地のまちづくりについて)
- 7月29日 勉強会・意見交換会(今後のつくば中心市街地のまちづくりについて)
- 8月30日 勉強会・意見交換会(今後のつくば中心市街地のまちづくりについて)
- 10月11日 勉強会・意見交換会(今後のつくば中心市街地のまちづくりについて)
- 11月7日 委員会(提言のまとめ方について)
- 29日 委員会(提言内容について)
- 12月13日 勉強会・意見交換会(中間報告の内容について)
- 19日 委員会(中間報告の内容について)

### 2020年

- 1月24日 委員会(中心市街地のまちづくり戦略案について説明を受ける)
- 3月3日 委員会(中心市街地のまちづくり戦略案について意見交換)
- 16日 委員会(提言内容について)

筑波研究学園都市の核となっていた西武筑波店とイオンつくば駅前店が閉店し、「クレオ」も2018年1月に閉館しました。そのような中、つくば駅周辺における空洞化が懸念され、多くの市民から魅力ある中心市街地の実現を求める声などが寄せられ、つくば市議会は2017年12月議会において「つくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための施策を講じることを求める決議」を行いました。

また、2019年1月28日に開催した議会報告会では、市民から議会での議論の有無についての質問など、多数の声が届けました。

以上のようなことから、今後の中心市街地のまちづくりについて、つくば市議会として詳細な調査と議論が必要であると考え、つくば市全域の活力の創出および魅力向上を含めたつくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための調査研究を目的とした「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」を設置しました。

その後、委員会や勉強会などさまざまな議論を繰り返し、2019年12月20日に中間報告をし、2020年3月19日に提言を議長から市長へ提出しました。

## 令和2年3月定例会議案等議決結果一覧

報告案件		案件名		議決結果		
【報告第1号】	専決処分事項の報告について	【議案第24号】	つくば市水道事業設置等条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【報告第2号】	専決処分事項の報告について	【議案第25号】	つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【報告第3号】	専決処分事項の報告について	【議案第26号】	つくば市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決		
案件名		議決結果	【議案第27号】	つくば市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	
【承認第1号】	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第22号)	承認	【議案第28号】	つくば市いじめ問題対策連絡協議会等条例について	原案可決	
案件名		議決結果	【議案第29号】	つくば市まちづくり事業基金条例を廃止する条例について	原案可決	
【議案第2号】	令和元年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	【議案第30号】	つくば市未来構想の変更について	原案可決	
【議案第3号】	令和元年度つくば市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	【議案第31号】	市道路線の認定について	原案可決	
【議案第4号】	令和元年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	【議案第32号】	市道路線の廃止について	原案可決	
【議案第5号】	令和元年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	【議案第33号】	市道路線の変更について	原案可決	
【議案第6号】	令和元年度つくば市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	【議案第34号】	財産の取得について	原案可決	
【議案第7号】	令和2年度つくば市一般会計予算	原案可決	【議案第35号】	財産の取得について	原案可決	
【議案第8号】	令和2年度つくば市国民健康保険特別会計予算	原案可決	【議案第36号】	令和元年度つくば市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	
【議案第9号】	令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	【議案第37号】	つくば市オンブズマンの任命について	同意	
【議案第10号】	令和2年度つくば市作岡財産区特別会計予算	原案可決	【議案第38号】	つくば市オンブズマンの任命について	同意	
【議案第11号】	令和2年度つくば市等公平委員会特別会計予算	原案可決	【議案第39号】	つくば市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	
【議案第12号】	令和2年度つくば市介護保険事業特別会計予算	原案可決	【議案第40号】	作岡財産区管理委員の選任について	同意	
【議案第13号】	令和2年度つくば市水道事業会計予算	原案可決	【議案第41号】	財産の取得について	原案可決	
【議案第14号】	令和2年度つくば市下水道事業会計予算	原案可決	【議案第42号】	財産の取得について	原案可決	
【議案第15号】	つくば市監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決	請願		常任委員会	議決結果
【議案第16号】	つくば市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決	【請願2第1号】	女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を国に提出することを求める請願書	市民経済	採択
【議案第17号】	つくば市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	意見書		議決結果	
【議案第18号】	つくば市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	意見書案第1号	女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	原案可決	
【議案第19号】	つくば市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	決議		議決結果	
【議案第20号】	つくば市戸籍法、住民基本台帳法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	決議案第1号	「持続可能都市つくば」の実現のために、つくば市議会としてより積極的な議会活動を行うことを宣言する決議	原案可決	
【議案第21号】	つくば市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決	決議案第2号	新型コロナウイルスの影響による市内事業者への調査及び方策を求める決議	原案可決	
【議案第22号】	つくば市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決	※議案第1号は市長からの申し出により撤回			
【議案第23号】	つくば市市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決				

### 令和2年3月定例会議員賛否一覧(議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	自民つくばクラブ・新しい風						つくば市政クラブ						つくば・市民ネットワーク				日本共産党			公明党			つくば政清会		山	新	創		
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	ヘイズジョン	久保谷孝夫	塚本洋二	大久保勝弘	高野進	柳沢逸夫	須藤光明	鈴木富士雄	小森谷佐弥香	皆川幸枝	宇野信子	北口ひとみ	山中真弓	橋本佳子	滝口隆一	山本美和	浜中勝美	小野泰宏	木村清隆	木村修寿	塩田尚	金子和雄	高野文男	
議案第9号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第12号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号(修正案)	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願2第1号	×	×	-	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	退
意見書案第1号	×	×	-	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は評決に加わりません。

※ 会派名(五十音順) 山=山中八策の会 新=新社会党 創=創生クラブはぐくれ

委員会紹介

都市建設委員会

◆委員長あいさつ

都市建設委員会では、都市計画部、建設部、生活環境部の三つの部局を担当しています。都市計画部では、まちづくりや住宅、交通に関わる事業を、建設部では、道路、公園などの事業を、生活環境部では、廃棄物や環境などに関わる事業を行っており、これらに係る予算や関連する条例についての審査を行っています。

今後とも、市民の皆さんの住みよいまちづくりのために、皆さまの声をしっかりと受け止め、委員会でしっかりと議論を尽くし、頑張ってまいります所存であります。

都市建設委員長 五頭 泰誠

都市建設委員会



鈴木 富士雄  
委員



塩田 尚  
委員



宇野 信子  
副委員長



五頭 泰誠  
委員長



山中 真弓  
委員



塚本 洋二  
委員



柳沢 逸夫  
委員



萩市議会

PICK UP  
住民主体のまちづくりについて  
行政視察 (萩市)

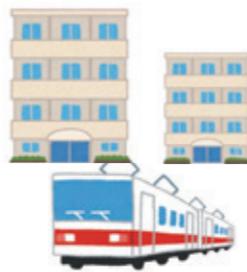
山口県萩市では、高齢化や過疎化が進んだ地域を元気に再生させることを目的に、シニア世代が中心となり地域の特性や資源を活用した持続可能な住民主体の活動計画「夢プラン」の策定に取り組んでいます。地区ごとにワークショップを開催し、将来像と目標を取りまとめ、イベントを開催したり、雇用の創出もしています。



三郷市議会

PICK UP  
TX沿線開発による人口増への対応  
について行政視察 (三郷市)

埼玉県三郷市は、TXの開通前後で、三郷中央地区内の人口が約7倍となるなど、子育て世代を中心に流入が続いています。条例を整備し、開発事業者に対し事前協議を義務付けるなど、開発による公共施設への影響を把握し、人口増加への対応を検討している状況を視察してきました。



PICK UP  
サステナスクエアについて  
所管事務調査を実施

令和元年12月議会にて、サステナスクエア敷地内への資源化施設建設工事の費用増額の議案が出されました。契約金額変更前後で約一億円の増額となるものです。増額の要因は、工事中に地中から瓦礫などが出てきたため、その撤去費用や工法の変更などにより加算されたものです。委員会で現場を視察し、瓦礫の状況や工事の進捗について確認してきました。



山口市議会

PICK UP  
住民主体で運行するコミュニティ  
タクシーについて行政視察 (山口市)

山口県山口市は、県内最大の1023.23km<sup>2</sup>と広範囲であることに加え、高齢化率約50%の過疎地域もあります。財政負担の限界もあることから、コミュニティ交通は地域が主体となって整備する方針を打ち出しました。コミュニティタクシーは、地域の実情や意向を反映させつつ、地元タクシー事業者に委託し、委託料を地域が負担(運行経費の赤字部分の約7割を市が補助)して運営しています。